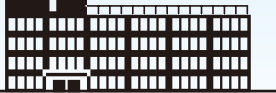


# あおぞら新聞



発行/2025年1月25日

社会医療法人北斗  
カンタキあおぞら

帯広市西18条南4丁目15-10  
TEL: 0155-36-7723  
編集責任者:大島 正夫

2025年1月号

## 防犯・交通安全講座を開催

2024年11月26日(火)、カンタキあおぞら4階の多目的室にて、帯広市危機対策室から講師をお招きし、防犯と交通安全をテーマにご講演頂きました。

まず、最近急増している特殊詐欺(オレオレ詐欺)について、帯広市危機対策課交通防犯係の杉山尚正様よりお話を伺いました。十勝管内でも多発する様々な手法で忍び寄る特殊詐欺への対策について、留守番電話機能の有効活用や撃退法を解説頂き、参加者の



## 交通安全のまみむめも運動

- ま 待つ** 車が通り過ぎるまで待つ
- み 見る** 横断する前に良く見て左右の安全確認
- む 無理をしない** 危険な近道よりも安全な場所で横断
- め 目立つ** 夜間外出は反射材や明るい服装で
- も もう一度** 道路中央でもう一度左側を確認

皆さんも改めて身近な犯罪として再認識され防犯意識を高めることが出来ました。

次に、同じく交通防犯係の交通指導員である阿部孝子様と須藤琴子様にも、早い時間から暗くなる冬の交通安全についてホワイトボードや交通標識クイズなどを使ってお話頂きました。また、交通標識のビンゴカードを使ったビンゴ大会も行い、反射シールなどプレゼントもご用意頂き、参加者の皆さんも楽しく講演を聞くことが出来ました。今後も機会を設けて皆様のお役に立つ講習会を実施してまいります。

## 「みまもりたい」始動!



2024年11月より、ちよつとした支え合いサポーターや地域の有志の方を中心に「みまもりたい」の活動を始めました。希望される方に反射材付のアームバンド(写真)をお配りしております。

「みまもりたい」には日時などを決めた行事はありません。ご自身のお好きな時に買い物や散歩でウォーキングする際、お配りしたアームバンドを腕に巻いて歩いて頂くだけです。挨拶を交わしたり、困っている方を見掛けた際は積極的なお声かけをお願いしております。

老若男女、どなたでも活動に参加でき、ウォーキングをするきっかけにもなるのでご自身の健康増進にも役立ちます。是非、この機会に地域の安全と安心につながる活動に参加してみませんか。

詳しくは、お気軽に下記までお問い合わせください。

みまもりたい

反射材付のアームバンド



## 「サロンあおぞら」好評開催中!

昨年10月よりカンタキあおぞらの4階多目的室で再開した地域交流サロンは、毎回20名前後の方にご参加頂き好評を得ております。毎月1回の脳トレサロンは冬の間はお休みを頂いておりますが、週1回(毎週月曜日)の元気はつらつ体操サロンは2月も開催致します。先生の指導のもと軽い体操をした後はお茶とお菓子を囲んでおしゃべりの時間。どなたでも参加自由です。体を動かす機会の減る冬、是非、一緒に体操とおしゃべりをして元気に過ごしませんか?

## 冬期の送迎実施中

足元の悪い冬の期間は3名以上のグループを対象に送迎のサービスがございます。お近くの公園やバス停などにお迎えにあがります。まずはお気軽にご相談ください。

### 2月の開催スケジュール

3日(月)	10時~11時30分
10日(月)	10時~11時30分
17日(月)	10時~11時30分
24日(月)	14時~15時

## 無料介護相談受付中

介護でお困りの事は何でもご相談ください。

0155-36-7723

カンタキあおぞら  
ケアマネジャー  
山本



〒080-0028 帯広市西18条南4丁目15-10

☎0155-36-7723

## カンタキあおぞら

※当日は同じ会場で14時から地域交流サロン(体操教室)も開催しております。是非、地域交流サロンにもお越しください。

## 地域の問題に関する意見交換会

2025  
2/24(月・祝)  
15:00~16:00  
カンタキあおぞら  
(旧あおぞらクリニック)  
4階多目的室  
帯広市西18条南4丁目15-10  
連絡先 0155-67-8911  
(石川または大島まで)

カンタキあおぞらでは帯広市の委託事業である生活支援コーディネート事業の一環として地域の問題に関する意見交換会(協議体)を開催します。どなたでも参加自由です。是非お気軽にご参加ください。

## 地域の問題に関する意見交換会を開催します





お誕生日レクリエーション  
実施中!

今回ご紹介するお誕生日レクリエーションは、「ご家族から「家ではいつも甘い物を好んで食べています」とお話しを聞き、柳月のスイートピアガーデンと道の駅おとふけへドライブ。天気が良く暖かい日だったので外を散歩することもできました。道の駅では写真スポットや連続テレビ小説「なつぞら」の撮影セットを見学した後、売店、野菜売り場、飲食店などが並ぶ場所を見て回り、普段は見慣れない野菜や果物が沢山あって驚かれました。その後、隣の柳月スイートピアガーデンに移動、クリスマス前という事もあり入り口に沢山飾られているポインセチアをみて「キレイだね」と喜ばれていました。その後のおやつタイムではシヨーケースに並んだデザートをじっくりと見ながら苺のシヨーケーキを選ばれイートインコーナーで食べて来ました。「いやーこんなに大きいの食べていいのかい?」と嬉しそうに言いながらも、あつという間に完食。柳月も道の駅も初めて来たようで「こんなめ

ずらしい所に連れてきてくれてありがとうございます、楽しかったよ。」と話されていました。



クリスマス特別食を  
提供!

大人になってもクリスマスは何となくウキウキしますね。カンタキあおぞらでは、デイサービス利用者の方を対象に12月23日〜25日のクリスマス期間に特別食とデザートを提供を行いました。12月23日はホットケーキ(複数のホットプレートを使い、皆さんの目の前で焼いたのでブレーカーが落ちた「おち」つきでした)、24日はチョコレートケーキとアイス、25日はクレープを提供。

クリスマス本番の25日はクレープにご自身でバナナやクッキー、ミカンなど好きなものをホイップクリームなどと一緒に包んで頂き、皆さん楽しそうに盛り付けしていました。テーブルにはクリスマス用のクロスを敷き、希望される方はサンタ帽を被りクリスマス色満載のなか「これは凄いですね。」「これも載せていいのかい?」「すごい!!楽しいね」と盛り上がり、お替わりを希望される方も数名いらっしゃるとも楽しいおやつタイムとなりました。



人生、  
十人十色

十勝に生まれ、十勝を愛した  
タクシー運転手

今回ご紹介するのは、昭和13年生まれ御年86歳の立花弘さん。帯広市西1条南10丁目の中心部で歯医者をお営む家庭に5人兄弟の四男として生まれ、双葉幼稚園、柏小学校、第一中学校、柏葉高校と帯広で育ちました。時代は太平洋戦争の真っ只中、双葉幼稚園時代は防空壕に避難する練習を頻りに行っていたことが記憶に残っているそうです。実際に、今の音更町すら高台にあった旧日本軍の施設が空襲を受けた時は防空壕に避難した経験も。昭和20年8月15日の暑い日、自宅のラジオで聴いた玉音放送が今でも頭に残っており、雑音がひどかったものの日本が負けたことは子供ながらに理解できました。終戦後は帯広にも満州や樺太から引揚者が来るようになり、敷地が広いご自宅は引揚者や家を失った人々に開放し食事も提供していました。高校卒業後は営林署に努める兄(次男)の勧めで羅臼で山の管理に携わる仕事をしました。高校時代に修学旅行で行った東京に憧れ、電気技師になるため上京して職業訓練校へ入学。卒業後は晴れて電気技師として東京で新たな人生を歩みます。東京では昭和天皇と美智子妃殿下のご成婚パレードを仕事場から眺めることが出来て感動したそうです。東京はまさしく昭和39年の東京オリンピックに向けて建設ラッシュだった頃、大森の八重洲無線で勤務していた立花さんは、一念発起して北海道に戻ることを決断、お知り合いの紹介で陸別にある電気工事に転職しました。

しかし転職して間もなく、作業をしていた電柱が折れ足を骨折。帯広の病院で処置後、美唄の総合病院に転院し約1年近く入院。その後、仕事に復帰したものの、冬の陸別はマイナス30度近くになる中、戸外での作業もしばしば。傷も痛み、かなりきつい環境でした。しかし、そんな陸別時代に良いこともありました。柏葉高校の当時の事務長の紹介で、浜頓別に住む素敵な女性と帯広のご実家でお見合い。立花さんの熱い思いが伝わり見事ご結婚。昭和43年、立花さん30歳、奥様28歳の時でした。それから56年間、今も仲睦まじく人生を歩んでおられます。



結婚当時の立花ご夫妻

さらに陸別では2人の間に娘さんと息子さんが誕生。しかし、息子さんは1歳を迎えることなく病気で亡くなってしまいます。このことをきっかけに立花ご夫妻は医療環境が整っている帯広への引っ越しを決断。帯広でも電気技師を続けるつもりでしたが、愛娘のためにも

稼ぎの良い十勝観光ハイヤーの運転手に転身。それからハンドルを握り続けて43年間、十勝を中心に北海道を走り続けました。立花さんが運転手を始めた頃の帯広市の人口は約12万人、それでも日本の高度経済成長期で街はとても賑やか、タクシーを使つてはチップをはずむお客も多かったそうです。帯広から羅臼や知床まで観光で使つたお客さんもいたそうです。あの頃はたくさん稼いだのに、なぜかあまり残らなつたとか。ご苦労もたくさんあった人生だったはずですが、辛いことはあまり覚えていないようで、楽しいお話をたくさんお聞かせ頂きました。長寿の秘訣は辛いことは忘れることでしょうか。人生の大半を十勝で過ごした立花さん、お話の中で十勝への愛を感じるものが出来ました。まだまだお元気で、奥様や娘さんと穏やかな日々を過ごして頂ければと思います。



立花ご夫妻

**利用者募集中**

提供サービス

- 訪問介護
- 訪問看護
- デイサービス(通い)
- ショートステイ(泊り)

**無料介護相談  
体験利用受付中**

お気軽にお電話ください  
**☎0155-36-7723**

看護小規模多機能型居宅介護 カンタキあおぞら  
〒080-0028 帯広市西18条南4丁目15-10